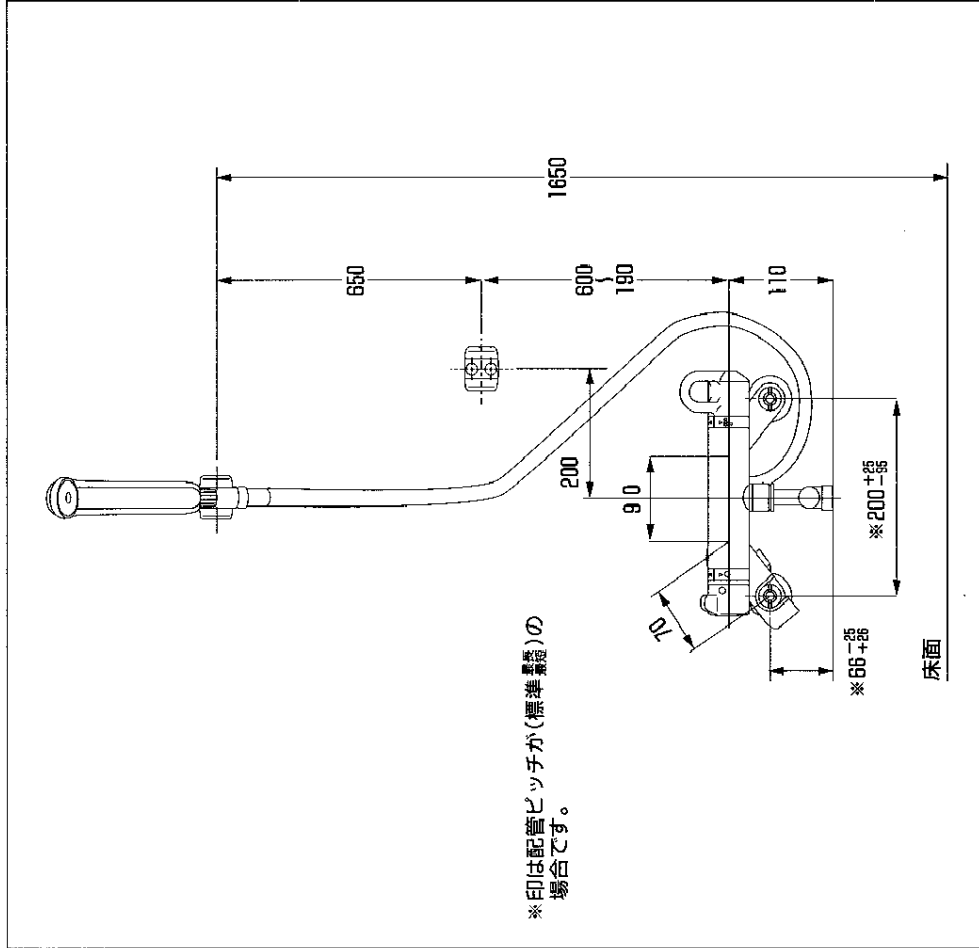


サーモスタット シャワー金具施工説明書

完成図

一般用 TMJ40CGQX
寒冷地用 TMJ40CGQZKX



*印は配管ピッチが(標準品)の場合です。

*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

●水温の低い(5℃)冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
(②貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa (0.5kgf/cm²)
最高圧力……………0.59MPa (6.0kgf/cm²)

*給水圧力が0.59MPa(6.0kgf/cm²)を超える場合は、市販の減圧弁で0.196MPa (2kgf/cm²)程度に減圧してください。

ただし、給湯圧力は給水圧力より高くなりたくないよう設定してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。

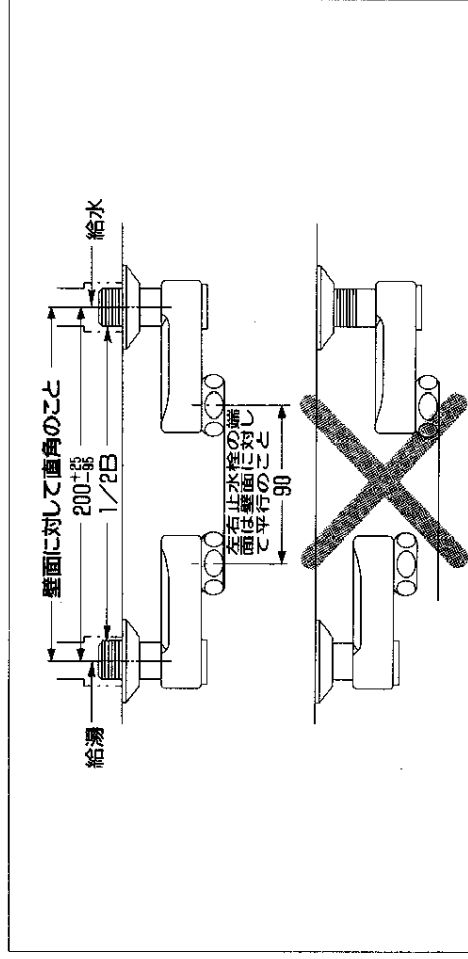
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け



*寒冷地用の場合は、止水栓の取付位置が本体よりも上になると水抜きができませんので、必ず下になるように取付けてください。

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

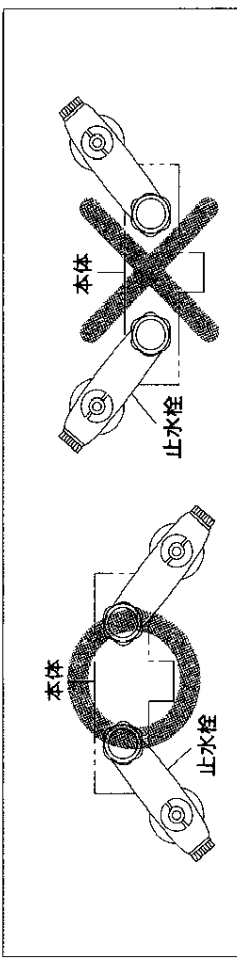
給水圧力 { 最低必要水圧… (下表参照)
最高圧力……0.59MPa (6.0kgf/cm²) }

器具入口部における最低必要水圧 (MPa (kgf/cm²))

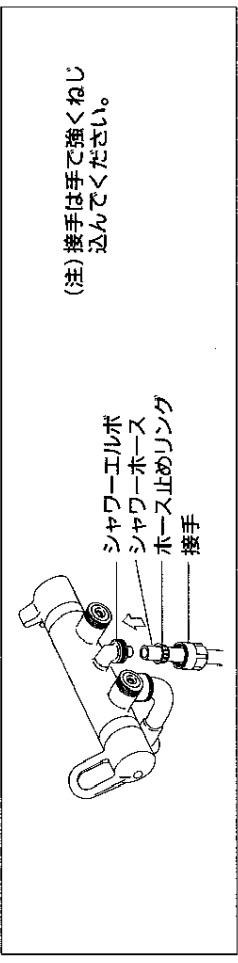
給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	普通シャワー A+0.22 (2.2)
	TOTO カスタム 制御方式	0.12 (1.2)
	16号	
	20号	
比例 制御 タイプ	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクテイ ス・パーアグティ)	0.11 (1.1)
	16号	
	20号	
	24号	
	32号	0.10 (1.0)
	TOTOハイトリコン 制御方式	0.11 (1.1)
TOTO コマンド	16号	0.12 (1.2)
	24号	0.10 (1.0)
	TOTO ハイコマンド	0.11 (1.1)
	24号	

注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)
(設定条件)

- 切替ハンドル全開
 - シャワー吐水温度：42℃
 - 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
 - 水温の高い (25℃) 夏期に着火させることを想定
- ※ 能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
- 給湯温度は60℃に設定

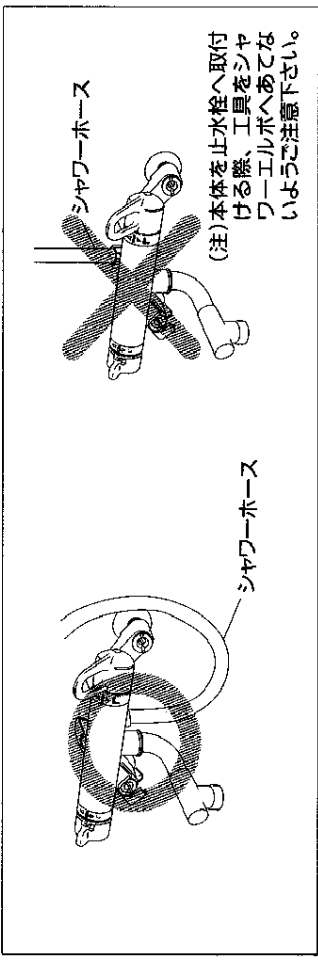


3. シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)
本体を止水栓に接続する前にシャワーホースをシャワーエルボに押し込み、接手をシャワーエルボにねじ込んでください。



(注) 接手は手で強くねじ込んでください。

シャワーホースは止水栓の下から取出してください。



(注) 本体を止水栓へ取り付ける際、工具をシャワーエルボへあてないようご注意ください。

4. 断熱脚カバリの取付け
湯側の脚に取付けてください。

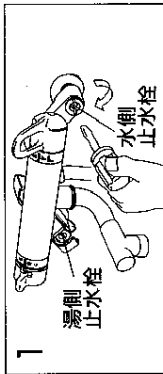


止水栓付脚の形状に合わせ、と音がするまで押し込んでください。

取付後の調整

1. ストレーナの掃除

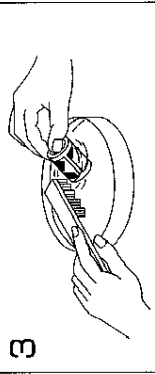
ストレーナが詰ると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。(ストレーナは断熱カバーを取付けた状態でも取外せます。)



マイナストライバーで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



開閉工具を溝に差込み、ストレーナをゆるめて取出してください。

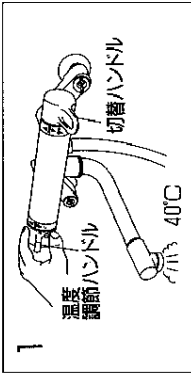


ストレーナの網目に詰ったごみをブラシなどで取除いてください。

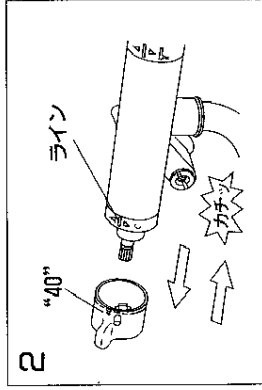
2. 温度調節

工場での温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。 ● ストレーナのごみづまりはないか。
- 常用給湯温度 (50°C以上) の湯がきているか。



切替ハンドルを回してカランをより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に關係なく40°Cの湯が出る位置まで回してください。



温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜きとってください。

※ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けません。抜けない場合は、レバーを傷が付かないように軽くたたいてください。

目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミネラル油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部 (インデックス、吐水口、シャワー等) に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食用中性洗剤を含ませた布でふきとった後、水洗いすること。
3. クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわなどは使用しないこと。
4. 酸性洗剤はめっきを侵すため使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

寒冷地用の水抜き方法

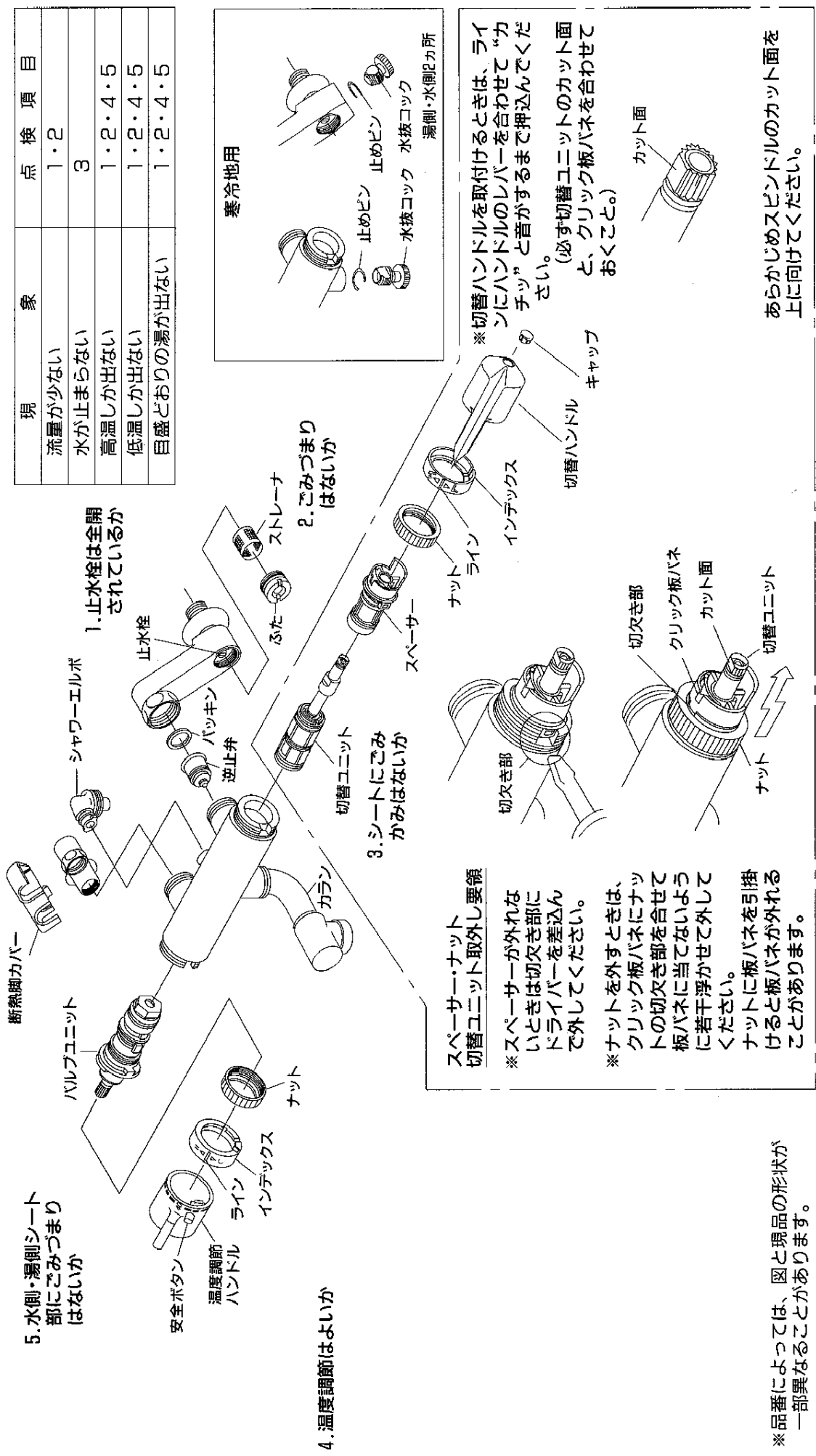
寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

(水抜き手順)

- (1) 切替ハンドルをカラン側に回す。
- (2) 水抜コックすべてを開く。
- (3) 温度調節ハンドルを“H”側に回し、カランから水が出なくなってからさらにハンドルを“C”側に回す。
- (4) カランから水が出なくなったら切替ハンドルをシャワー側に回す。
- (5) ホースの水を抜き、シャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床におく。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。



現象	点検項目
流量が少ない	1・2
水が止まらない	3
高温しが出ない	1・2・4・5
低温しが出ない	1・2・4・5
目盛どおりの湯が出ない	1・2・4・5